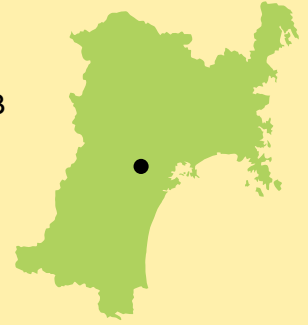


株式会社 ミヤックス



- 本社所在地 宮城県仙台市泉区寺岡一丁目1番地の3
- 主な事業内容 修景遊具環境事業、
オフィスパブリック・施設事業
- 従業員数 35人



健康経営優良法人認定

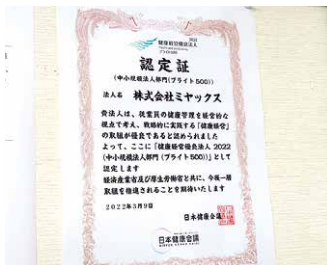
2018～2023 認定 (2021～2023 はブライツ500)

健康経営に取り組むきっかけ

当社は、公園や学校の「遊具」の施工・メンテナンスおよびオフィスや学校の空間プロデュースなどを手掛けており、30代半ばの社員が中心の会社です。

7～8年前に社員の一人が病気で2か月休職したことがあり、中小企業において社員が一人欠けることの重大さに気づき、病気による休職は予測と対策でリスクが下げられると考え、健康経営に取り組むようになりました。

また、以前から、健診受診率100%達成だけでなく、婦人科・がん検診受診などにも積極的に取り組んでおり、このような取組を「客観的指標で数値化」できないかと考え、健康経営優良法人認定制度に毎年申請し、6年連続(ブライツ500は3年連続)で認定を受けています。



各種認定証

注力している取り組み

自社の特性を持続的に活用できる取組として、昇降式デスクやバランスボールのような機能を持つ椅子をオフィスに導入しています。自然と作業姿勢が改善され、健康への意識も高まり、その実例をお客様にも提案できます。



バランス機能を持つ椅子

社員にはスマホを貸与して歩数計などのヘルスケアアプリと連動させ、日々の食事内容を入力したり、体重を管理したり、個人の健康状態を「見える化」しています。

また、定期的に希望する社員に対し、専門家によるストレッチやマッサージを行っています。現場に直行する社員もいるので、社内SNSで健康関連の話題や毎日の現場情報を共有し、コミュニケーションを図っています。

取り組みの課題

会社としては、PCやアプリで将来の病気のリスクを見える化できる

ようにして来ましたが、やはり『個人の意識改革』が必要であると感じます。社内ウォーキング運動を提唱したり、トランポリンを置いたりするなど環境を整備してきました。しかし、各個人の意識の低さもあってか、長く続かないことが多かったです。

特に運動に関しては、運動習慣のない人に取り組んでもらうようにするのが困難でしたので、試行錯誤を繰り返す中でハードルを低く設定しながら、地道に取り組んでいます。将来的には、無理なく体を動かせるコーナーも設けたいと模索中です。

取り組みの効果

健康経営優良法人認定という外部評価やコツコツ積み重ねた健康づくりの取組により、「会社がきちんと社員を考えている」と、社内でも認識を高められたと思います。

また、日頃お取引や親交のある40社あまりで「協力会」を作っています。当社での実績を含めた健康経営の良さを発信するために、ノウハウの共有や申請の手助けをした会社のうち1～2社が毎年、協会けんぽ宮城支部の職場健康づくり宣言に登録し、健康経営に取り組む始めています。この取組も評価され、「ブライツ500」を3年連続で取得できたのではないかと考えています。



健康状態を「見える化」できるヘルスケアアプリ

今後の展望をお聞きました！

社員の喫煙習慣を減らし、メタボ予備群も目に見える形で減らすのが当面の目標です。「協力会」では健康セミナーを開いており、地元の会社にも多く健康経営に取り組んでもらえれば周囲の意識も高まり、相乗効果も得られるので当社にも良い影響があると考えます。

栗原市若柳に自社の工場があり、当社の遊具を設置している公園が併設しています。現在は、遊具の実証実験や社員の家族のみ開放していますが、いずれは地域に向けたイベントを企画したいと構想中です。子どもたちの遊び場＝周辺環境と調和した空間を提案する会社でもありますので、「運動する楽しさを知る」機会も提供していきたいと思えます。



取締役兼管理部長
高橋文太郎 氏